

夏季研修会

今年は、酷暑の夏でした。お盆明けのご多用の中、夏季研修会に参加いただきありがとうございました。参加できなかった方もいらしたと思います。区内での情報共有をお願いいたします。

今年度は、横浜市教育課程研究委員会報告をはじめとして、本部会教育課程委員会による性に関する集団指導と個別指導の提案に加え、部会長 南瀬谷中学校校長 山川伸仁先生より「完全実施目前！新学習指導要領 養護教諭として知っておいてほしいこと」の講演がありました。

参加者の感想より

- ・現場の校長先生が求めていることをうかがう機会となり、身が引き締まった。
- ・養護教諭として、どのように教育課程に関わっていくかの指針になった。
- ・横断的な教科、領域をつなぐ保健教育ができることを感じた。

新学習指導要領のどこをどのように意識すると良いのか、わかりやすく読み解いていただきました。2学期からの仕事への意欲を感じられた方が多かったようです。また、続編を期待したいです。

また、「健康教育の考え方進め方について」境木中学校副校長 坂本由紀江先生にお話をいただきました。性に関する指導を深めていらした先生のお話は、皆様の心に温かく響き、記憶に残されたようです。

参加者の感想より

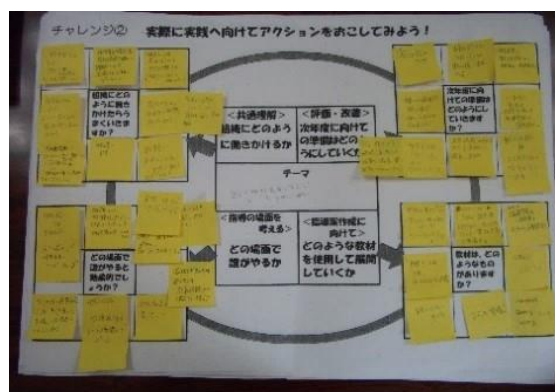
- ・「こんな性の体験をしてほしい」という視点にハッとした。ブレーキばかりでなく、幸せな人生を送ってほしいという考えのもと進めるという大切なヒントをいただいた。
- ・性に関する指導をはじめ、健康教育を学校・地域・家庭が連携して行っていくため、広い視野をもって計画的にすすめることが大切だと改めて感じた。
- ・坂本先生のお言葉一つ一つに愛を感じられ、いつも元気とやる気をいただける。

ワークショップ

～みんなで考えよう 性に関する指導の取組について～

各校で性に関する指導を実践するため、コーディネートしていく過程をPDCAサイクルに沿って情報交換しました。

様々な実践経験に基づく知識、知恵、技、工夫等の情報交換をしました。



- ① 「組織に働きかける手段」 保健指導部や特活指導部、学年等に働きかけることに加え、みなさんが専任やSCとの関係、日頃の職員室でのコミュニケーションを大切にしている姿が垣間見られました。
- ② 「どのような場面で誰が行うと効果的なのか」 特活の時間に担任が行うクラス単位での指導、学年集会で講師を招き養護教諭が指導する集団指導、学校保健委員会で生徒を交えた指導等、生徒の実態と指導内容によってどの形態が良いか、考えられていました。
- ③ 「どのような教材を使用しているか」 横浜プログラムを参考にする、心理テスト、エゴグラム、ロール

プレイ、リフレーミング、ブレインストーミング等の手法を取り入れている例が多く挙げられていました。また、事例をマンガで表したものやドラマの一部を使用したもの、親の手紙、アイパッド等の電子機器を活用して映像作成するなど、さらに詳しく教えていただきたい！という例も多く挙げられていました。

- ③ 「指導を次年度へ継続させるための手段」 指導後に保健だより等で保護者へPRする、指導後の生徒の意識の変化や行動変容を職員間で共有する、年度末反省に取り上げて学校保健計画に盛り込む等の意見が挙げられていました。また、どのグループでも区内養護教諭間で効果的な資料の情報交換をすることが挙げられており、仲間同士助け合える心強さを強く感じました。

横浜市教育課程研究委員会研究協議会

総則部会研究協議会

今年度は昨年度より引き続き市養護教諭研究会の代表として、大口台小学校 吉澤千春先生が参画しています。中学校養護教諭部会では、副部長と教育課程委員のメンバーが参加しました。

30年度の研究協議会では、新学習指導要領改訂の4つのキーワード「社会に開かれた教育課程」「カリキュラム・マネジメント」「資質・能力の3つの柱」「主体的・対話的で深い学び」について説明がありました。また、教科等横断的に育成を目指す資質・能力と「三つのつながり」（三つのつながりとは「授業のつながり」「人のつながり」「学びのつながり」）は、各学校やブロックが教育課程全体で育成を目指す資質・能力を考えるために「ぐるぐる」図等を用いて職員みんなで考えることが大切である、というお話がありました。この「三つのつながり」については、養護教諭の視点でとらえた内容も示されました。

体育、保健体育科研究協議会

全体会では体育科・保健体育科が育成を目指す資質・能力や、主体的・対話的で深い学びの授業改善の視点と見方・考え方、配慮が必要な児童生徒への指導について教育委員会より説明がありました。

また、カリキュラム・マネジメントの具体的な取組について、桐蔭横浜大学の佐藤豊先生のお話がありました。また分科会では、小学校6本、中学校3本、小中1本の提案がありました。中学校の保健分野においては、新学習指導要領の内容として各学年で行われるようになる「健康な生活と疾病の予防」の第2学年で取り扱う「がんの予防」について授業提案を行いました。

特別活動研究協議会

特別活動は、教科書がなく指導に差が表れやすいので、全体計画に示す内容を全教職員で共有して指導に当たることが大切であるというお話がありました。分科会では、中学校第2学年 学級活動（2）について、全校の取組との関連を図った活動が提案され、学級担任と養護教諭がTTで取り組んだ内容でした。

* 特別活動については、次の号で、詳しく報告する予定です。

★ H30 総則部会・専門部会 研究協議会関係資料はYCANの教育課程推進室のウェブページに公開されています。

YCAN>区局Web>教育委員会事務局>教育課程推進室

★夏季研修会のご感想や次年度の要望についてたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。

次年度もぜひ参加いただき、教育課程について一緒に学んでいきたいですね。

私たち養護教諭は養護をつかさどる「教諭」として日々の職務にあたっています。社会にひらかれた学校とは何かを養護教諭の視点でもとらえ、生徒の資質・能力を育んでいきたいものです。

担当：洋光台第二中 新井明美 桂台中 奥田直美